

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護方法論Ⅲ (バイタルサイン/フィジカルアセスメント)
講師名	下田 旬美	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1単位 30時間 (12/18時間)	開講年次	1年次 前期

目的：身体の生理的変化の観察と評価に関する看護の基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。

- 目標：
1. バイタルサインの観察の意義を理解できる
  2. バイタルサインの基礎知識を理解できる
  3. バイタルサインを正しく測定する技術を習得できる
  4. バイタルサインを総合的にアセスメントできる
  5. フィジカルアセスメントの意義と方法を理解できる
  6. フィジカルアセスメントの技術を習得できる

回	時間	講義内容	
1 フィジカル①	2 講義	1. フィジカルアセスメントとは 2. フィジカルアセスメントの方法 3. 症状・徴候からのアセスメント	1) フィジカルアセスメントの意義と目的 2) フィジカルアセスメントに必要な技術 ①問診 ②視診 ③触診 ④聴診 ⑤打診 1) 問診の技術 2) 症状・徴候からの症状・兆候からのアセスメント
2 バイタル①	2 講義	1. バイタルサインの観察の意義 2. 体温	1) バイタルサインの定義 2) バイタルサイン観察の意義 1) 体温の基礎知識 2) 体温の変動要因、正常・異常 3) 体温の測定法および留意点
3 バイタル②	2 講義	1. 脈拍 2. 呼吸	1) 脈拍の基礎知識 2) 脈拍の変動要因、正常・異常 3) 脈拍の測定法および留意点 1) 呼吸の基礎知識 2) 呼吸の変動要因、正常・異常 3) 呼吸の測定法および留意点
4 バイタル③	2 演習	バイタルサインの測定 (体温・脈拍・呼吸)	1) 動脈の触知 2) 体温・脈拍・呼吸の測定
5 バイタル④	2 講義	1. 血圧 2. 血圧計の取り扱いと血圧測定	1) 血圧の基礎知識 2) 血圧の変動要因、正常・異常 1) 血圧計の種類 2) 血圧計の構造と取り扱い方法 3) 血圧の測定法および留意点
6 バイタル⑤	2 演習	1. バイタルサインの測定 (血圧)	1) 血圧の測定 2) 体温・脈拍・呼吸・血圧の一連の測定し報告する
7 フィジカル②	2 講義	1. 身体機能別アセスメント①	1) 呼吸系のフィジカルアセスメント

8 フィジカル③	2 講義	1. 身体機能別 アセスメント②	1) 循環系のフィジカルアセスメント
9 フィジカル④	2 演習	1. 身体機能別 アセスメント①の実践	1) 呼吸器系のアセスメント 2) 問診
10 フィジカル⑤	2 講義	1. 身体機能別 アセスメント③	1) 消化器系のフィジカルアセスメント 2) 運動系のフィジカルアセスメント 3) 運動器系アセスメント
11 フィジカル⑥	2 演習	1. 身体機能別 アセスメント②③の実践	1) 循環系のフィジカルアセスメント 2) 消化器系のフィジカルアセスメント
11 フィジカル⑦	2 講義	1. 身体機能別 アセスメント④	1) 中枢神経系のフィジカルアセスメント ・意識に関する基礎知識 ・意識レベルの評価方法 2) 感覚器系のフィジカルアセスメント
12 フィジカル⑧	2 演習	1. 身体機能別 アセスメント④の実践	2) 中枢神経系のアセスメント 3) 感覚器系のアセスメント
14 フィジカル⑨	2 演習	1. フィジカルイグザミネーションの実際①	1) 症状・疾患別アセスメント事例検討  52 フィジカルアセスメント
8	1 1	技術評価	バイタルサイン測定技術評価
		単位認定試験	50 バイタルサインの測定 筆記試験
<b>講義方法</b>		講義、課題、動画視聴	
<b>評価方法</b>		単位認定試験： 筆記試験：55点 課題レポート：10点 課題提出状況（事前事後課題）：5点 技術評価：30点（基準に満たない場合は再評価となる） 合算にて60点未満は筆記試験の再試験となる。	
<b>テキスト</b>		医学書院 e テキスト：専門分野 基礎看護技術Ⅰ、Ⅱ 看護が見える①. 基礎看護技術. メディックメディア. 2019 看護が見える③. フィジカルアセスメント. メディックメディア. 2021	
<b>参考文献</b>		1. 横山美樹：はじめてのフィジカルアセスメント 第2版、メジカルフレンド社、2019 2. 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック第2版、医学書院、2011 3. 大久保暢子：日常生活行動からみるヘルスアセスメント、日本看護協会出版会、2016 4. 聖マリアンナ医科大学病院看護部編集：みるみる身につくバイタルサイン、照林社、2014 5. 藤野智子監修：基礎と臨床がつながるバイタルサイン、学研、2015	
<b>備考</b>		記載されている到達度評価を行う。(50・52) 到達度評価に該当する講義に、到達度評価ファイルを持参する。	